

第71回全日本大学野球選手権大会

新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

【基本方針】

チーム関係者は試合、移動等にあたって、新型コロナウイルス感染防止対策の基本となるソーシャルディスタンスを確保すること、密接、密集を避けること、マスクを着用すること等を常に意識しながら行動することとする。

【観戦について】

原則、有観客試合とし、収容人数の上限については政府からのイベント開催制限に準ずることとする。

【球場に入る際の感染予防策】

(1) チーム関係者

- ①「健康チェックシート表（チーム用）」（別紙1、P.43）を試合当日、大会本部に提出する。
ただし、起床直後及び出発前に検温を行い、37.5度以上あった者は球場への入場を禁止する。また、同チェックシートの質問3項目のいずれかに「有」とチェックがあった者の球場への入場可否については、大会本部がチーム責任者と協議して判断する。
- ②入口にサーモグラフィを設置し、体温が37.5度以上と反応があった場合は非接触型体温計で再検温をする。非接触型体温計の再検温でなお37.5度以上の場合は、接触型体温計で再々検温をする。
- ③関係者受付（入口）で消毒液による手指消毒を行う。
- ④マスク着用を必須とする。

(2) 大会関係者

- ①関係者受付（入口）で検温を行い、37.5度以上あった者は球場への入場を禁止する。
また、「健康チェックシート表（大会関係者）」に必要事項を記載し、同チェックシートの質問3項目のいずれかに「有」とチェックがあった者については、大会本部が当事者に内容を確認のうえ、球場への入場可否を判断する。
- ②関係者入口にサーモグラフィを設置し、体温が37.5度以上と反応があった場合は非接触型体温計で再検温をする。非接触型体温計の再検温でなお37.5度以上の場合は、接触型体温計で再々検温をする。
- ③消毒、マスク着用は、上記(1)と同様とする。

(3) 報道関係者

- ①関係者受付で、検温を行い、37.5度以上あった者は球場への入場を禁止する。また、「健康チェックシート表（報道関係者）」（別紙2、P.45）に必要事項を記載し、同チェックシートの質問3項目のいずれかに「有」とチェックがあった者については、大会本部が当事者に内容を確認のうえ、球場への入場可否を判断する。

②関係者入口にサーモグラフィを設置し、体温が37.5度以上と反応があった場合は非接触型体温計で再検温をする。非接触型体温計の再検温でなお37.5度以上の場合は、接触型体温計で再々検温をする。

③消毒、マスク着用は、上記(1)と同様とする。

(4) 観客・スタンド観戦者

①以下の事項に該当する場合は入場をお断りする。

(i) 過去72時間（3日間）以内から現在までに体温37.5度以上（球場入口通過時にサーモグラフィで体温検査実施）、強い倦怠感、感冒様症状（咳、咽頭痛、息苦しさ等）、味覚・嗅覚異常などの異変がある場合を含む体調不良のある方

(ii) PCR 検査陽性歴があり行動制限の解除がされていない方

(iii) 濃厚接触者として自宅等に待機中

(iv) 海外から帰国（日本に入国）して原則7日間の自宅待機が経過していない方。ただし、新型コロナウイルス感染症ワクチンを3回接種している方は自宅待機は不要のため対象外。また、同ワクチンを3回接種していない方で、帰国後3日目以降にPCR検査もしくは抗原定量検査を自主的に受けて陰性を確認した場合は自宅待機が不要となるため対象外。

(v) マスク非着用の方

②各入場口にサーモグラフィを設置し、体温が37.5度以上と反応があった場合は非接触型体温計で再検温をする。非接触型体温計の再検温でなお37.5度以上の場合は、接触型体温計で再々検温をする。

③球場入口で消毒液による手指消毒を行う。

④マスク着用を必須とする。忘れた場合や破損している場合は購入を促す。

【チーム関係者の感染予防策】

監督、コーチは新型コロナウイルス感染防止対策を念頭に置きながら選手を指導することとする。

(1) 球場への移動

①選手は原則、チームバスを使用する。

②その他の部員は第三者との濃厚接触を回避するため、公共交通機関を利用する場合は、混み合う時間帯をなるべく避けるように注意する。

③移動中は、マスク着用を必須とする。

(2) 合宿所・宿泊施設

①起床直後と出発前の検温を行う。

②食事は、ビュッフェスタイルを避け、隣同士との距離を空ける。

③ミーティングを行う場合は、隣同士との距離を空ける。

④不要な外出は行わず、外出時はマスクを着用する。

⑤外部との接触（面会）は極力避ける。

(3) 試合前後の流れ

- ①ベンチ裏などでは、チーム全体でのミーティング、長時間の滞在を避ける。
- ②球場内では外部者（家族等も含む）との接触を避ける。
- ③消毒液をダッグアウト、選手控室に配置し、適宜消毒を行う。
- ④球場外およびグラウンド内でのウォーミングアップ時のマスク着用は必須としない（コンコース内ではマスクを着用する）。

《神宮球場》

第1試合

【試合前】

神宮到着後、バスは正面（7番入口）につけ選手は降車。

降車後、ロッカーに寄らず直接ベンチ又はベンチ裏に入る。

喫食する場合は長時間の滞在を避けたうえでベンチ裏のスペースを使用する。

グラウンドインは4試合もしくは3試合行なう場合は8:00、準決勝は11:00、決勝は11:30。

※準決勝の日に野球殿堂表彰式がある場合のグラウンドインは10:30とする。

【試合後】

ベンチ又はベンチ裏にある道具は直ちにグラウンド上に出す。

取材の順番に関しては、「敗戦チーム」から「勝利チーム」の順で行なうこととし、場所は記者席裏。取材対象者は監督と指名選手2名の3名まで。

チームのバス、荷物車は、ゴルフ練習場駐車場（P.31参照）にて待機。

選手は必要な道具を持ち、グラウンド内から13番入口（レフト側ゲート）に向かい、直接バスに移動する。

着替えを行う場合は車中、もしくは駐車場スペースにて速やかに行う。

第2試合以降

【試合前】

神宮到着後、バスは正面入口から入り、16番（センター）につけ選手は降車。

到着後、それぞれの外野の指定された待機スペースに移動。

ウォーミングアップを行う際は1塁側チームは18番入口付近のスペース、3塁側チームは14番入口付近のスペースにて行う。ただし、個人でバラバラと移動してのアップやスタンドへの入場（観戦）、外部との接触は禁止とする。

第1試合終了後、外部との接触を避ける為に、外野の指定ゲート（1塁側チームはライト側、3塁側チームはレフト側）からグラウンドに入る。

グラウンドイン後は荷物をグラウンド上に置いて外野でウォーミングアップを行う。

前の試合のチームが退場後、ベンチに荷物を入れキャッチボールを開始する。

試合間は25分間とする。

【試合後】

第1試合の流れと同様。

《東京ドーム》

第1試合

【試合前】

東京ドーム到着後、バスは関係者駐車場入口から入り、選手は係員の指示に従い降車。降車後、ロッカーに寄らず直接ベンチ又はベンチ裏に入る。喫食する場合は長時間の滞在を避け、ベンチ裏のスペースを使用する。グラウンドインは4試合もしくは3試合行なう場合は8:00。

【試合後】

ベンチ又はベンチ裏にある道具は直ちにグラウンド上に出す。取材の順番に関しては、「敗戦チーム」から「勝利チーム」の順で行なうこととし、場所はイベントA。取材対象者は監督と指名選手2名の3名まで。チームのバス、荷物車は関係者駐車場にて待機。選手は必要な道具を持ち、グラウンド内から関係者入口に向かい、直接バスに乗車する。着替えを行う場合は車中、もしくは駐車場スペースにて速やかに行う。

第2試合以降

【試合前】

東京ドーム到着後、バスは関係者駐車場入口（第3試合チーム）または東京ドーム駐車場入口（第2・4試合チーム）から入り、選手は係員の指示に従い降車。到着後、それぞれ1階コンコース指定の待機スペースに移動（1階コンコースは一般に開放せず、選手限定エリアとする）。

ウォーミングアップを行う際は係員の指示に従い、1塁側チームは1塁側コンコース、3塁側チームは3塁側コンコースのスペースにて行う。ただし、個人でバラバラと移動してのアップやスタンドへの入場（観戦）、外部との接触は禁止とする。第1試合終了後、前の試合のチームとの接触を避ける為に、1塁側チームはライトポール横ゲート、3塁側チームはレフトポール横ゲートからグラウンドに入る。グラウンドイン後は荷物をグラウンド上に置いて外野でウォーミングアップを行う。前の試合のチームが退場後、ベンチに荷物を入れキャッチボールを開始する。試合間は35分間とする。

【試合後】

第1試合の流れと同様。

(4) 試合中

後記【試合について】に記載する。

【大会関係者の感染予防策】

- (1) 本部席、審判控室、記録室、放送室等は、使用する者が定期的に換気する。
- (2) 各諸室、関係者用トイレには、消毒液を配置し、消毒や手洗いを徹底する。

- (3) 球場内は、マスク着用を必須とする。
- (4) 不要不急の外出、外食を避ける。
- (5) グラウンドや記者席への移動は業務上必要のある者（赤色 ID 着用者）のみとし、その他の関係者の移動は禁止とする。

【報道関係者の感染予防策】

- (1) 記者席では、使用する者が定期的に換気する。
- (2) 記者席に入室出来る人数は各社2名までとする。
- (3) カメラマン席に入室出来る人数は各社1名のみとし、入退席の移動は観客席からのみとする。
- (4) 記者席には、消毒液を配置し、消毒や手洗いを徹底する。
- (5) 球場内は、常時マスク着用を必須とする。
- (6) チーム関係者への取材は、取材対象者を事前に大会本部に通知（監督、指名選手2名以内）する。
- (7) 取材する時は、2m以上の距離を保ち、各社1名のみとする。なお、取材エリアは記者席裏のみとし、ぶらさがり取材、突発的な囲み取材は禁止する。
- (8) 取材の順番に関しては、「敗戦チーム」から「勝利チーム」の順で行なうこととし、時間については勝利・敗戦チームともに10分とする。
- (9) テレビカメラの取材に関しては、各社2名までとする。
- (10) 中継各社のスタッフについては必要最低限の人数（要相談）とする。
- (11) 学生新聞等の学内団体については、各団体の人数を1名のみとし、取材エリアは1・3塁側の雑協席のみとする。ぶらさがり取材、突発的な囲み取材は禁止する。

【観客（スタンド観戦者）の感染予防策・注意喚起・要請】

- (1) 観客席で大声をだすこと、太鼓等の鳴り物を使うこと、応援歌の合唱、及びエールを送ること等を禁止する。
- (2) 放送やビジョンを用いて頻繁なマスクの着用勧告（熱中症が懸念される場合は、「こまめな水分補給」「周囲の人と距離を十分にとれる場所でマスクを一時的にはずして休憩」も状況に合わせて促す）。
- (3) 副券「来場者情報記入券」に氏名、電話番号、座席情報を記入のうえ、退場時に本券をスタッフにお渡しいただく。
- (4) チケットの半券を7日間保存していただく。
- (5) 感染者との接触を通知する「接触確認アプリ」の導入を促す。
- (6) 感染防止のための行動制限（回遊制限、規制退場、応援制限、飲食販売制限等）への理解を促す。
- (7) 感染が判明した場合及び濃厚接触者と指定された場合への大会本部指定の連絡先への連絡協力を促す。
- (8) 感染が判明した場合、自治体及び保健所との協議の上、陽性感染者と近隣座席利用者への連絡実施等を行う。
- (9) 東京ドームは当日の全試合終了後に使用したエリアの観客席、手すり等共用部分の消毒を行う。
- (10) 球場内のトイレにも消毒液を用意し、手洗いの励行を喚起する。

(11) ファウルボールの回収は部員及び球場スタッフが行う。

【試合について】

試合開始及び試合終了時、ホームベースをはさんで2 m以上の間隔をあけて両チーム向き合って整列し、挨拶を行うこととする。

(1) 審判員

①球審

マスクの着用、または球審用マスクシールドを装着する。

②熱中症の予防には、十分に注意する。

(2) チーム

①ダッグアウト内では選手同士の間隔の確保に努める。

②ブルペン控室はファウルグラウンド上（プロ野球に準ずる）に設置する。

③ダッグアウト内ではマスク着用を必須とする。出場している選手、控え選手及び監督・助監督・コーチ等のスタッフ（ベースコーチ含む）、ボールボーイ、打球監視員も同様。

④素手でのハイタッチ、握手及びメガホンの使用等を禁止する。

⑤試合中、唾を吐く行為、手を舐める行為は禁止する。

⑥試合前やイニング間の円陣は一定の間隔を保つ。

⑦投手交代等でマウンドに集まる場合、できるだけ選手、監督（コーチ含む）との間隔をとり、可能な限り接触を避ける。

⑧スポーツドリンク等の回しのみは禁止する。

⑨ファンとの接触（握手、サイン等）は禁止する。

⑩取材を受ける場合は大会本部の指示に従い2 m以上の距離を保つ。

⑪控え部員の観戦場所は決められた指定のエリアとする。

(3) 大会本部、球場関係者

①マスクの着用を必須とする。

②使用する諸室等の消毒は徹底する。

【感染者が発生した時の対応】

(1) 大会前日までの対応（「図①、P. 46」参照）

①チーム関係者

- ・チーム内の体調不良者が医療機関から新型コロナウイルスに感染の疑いがあると診断された場合、チーム代表者は大学及び大会本部に報告する。
- ・チーム関係者は検査結果を大学及び大会本部に報告し、保健所の指示、指導に従い陽性者には隔離、濃厚接触者（濃厚接触の可能性のある者を含む）には合宿所もしくは自宅待機の措置を行う。
- ・チーム代表者は大学の判断により大会に出場可能な場合は選手数を大会本部に報告する。

(2) 大会期間中の対応

①チーム関係者

- ・チーム代表者はすみやかに大学及び大会本部に報告し、保健所の指示、指導に従い感染者の隔離及び濃厚接触者（濃厚接触の可能性のある者を含む）の合宿所もしくは自宅待機の措置を行う。

②観客

- ・大会本部までご連絡いただくよう促す。

③大会日程の変更等について

- ・大会の中止を含む日程の変更等については、大会本部が協議の上、決定する。

④当該チームの試合出場の可否について大学の方針に従い大会本部で協議の上、決定する。

(3) 大会終了後の対応について

チーム関係者、大会本部及び観客に感染したことが判明した場合、保健所の指示、指導に従うものとする。

【その他】

なお、本ガイドライン、大会要項「PCR 検査実施について」(P. 5)に記載されていない事象が発生した場合、大会本部が協議の上、対応する。

以 上